山手台中だより~希望に燃えて~



R7年度 9月号

なぜ勉強するのか、なぜ学ぶのか

学校長 井川勝博

一度は同じような疑問にもったことがある人もいることでしょう。

「将来の選択肢を広げるため」「思考力や判断力を養うため」「社会で生きていく力をつけるため」「視野を広げ発想を豊かにするため」「自信をつけるため」これらはAIからの回答のいくつかです。わたしも「教師」として、生徒にストレートに疑問を投げかけられたこともあります。「数学科」の教師のわたしは、「考える力をつけることができる」とか「難しい問題を解くことで、あきらめない心、自分の力で解く力(問題解決能力)をつけることもできる」というような話をした経験もあります。自分自身の立場で考えれば、「もっと歴史に興味をもって勉強していれば・・・」「英語を話せるようになりたかったなあ」とか、歳を重ねたいまだからこそ、「学び」の大切さを痛感することもあります。だからといって、「なぜ勉強?」に対して「年齢を重ねるとその大切さがわかるよ」では納得してもらえるはずはありませんが。

先日、あるサイトを閲覧していて「なぜ勉強するのか」という内容のものにたいへん感銘を受けました。もしかしたら、以前から有名であったのかもしれませんが、紹介させていただきます。

「なぜ勉強しなければならないのか」という質問に母は机にコップを置きこう答えた。

「算数」を学べば、この中に 200ml の水があるというように、数字で見えるようになり、

「理科」を学べば、この水は水素と酸素からできていることが知れる

「社会」を学べば、この水がどこから来たのかがわかり、そして世界にはこのきれいな水を飲むことができない人たちがいることが知れる

「美術」を学べば、この水の反射を綺麗に描くことができるようになるし

「音楽」を学べば、同じコップでも水の量で音を変えられることにも気づける

「技術」を学べば、このコップがどんな素材でなぜ漏れないかがわかり、人の『創造』の凄さ を知ることができる

「保健体育」を学べば、この水が体にどれだけ大切なのか健康を支える命の正体が見えてくる

「道徳」を学べば、この水を誰かと分け合うことの大切さを学べて、思いやりの心が育つ

「国語」を学べば、いま私が話した『全部の意味』を正しく理解できるようになる

「英語」を学べば、この話を世界中の人と分かち合えるようになる

「哲学」を学べば、この話に何の意味があるのか考えられるようになる

でも、もし学ばなかったら、このコップの中にあるのは『ただの水』で終わるだから勉強するんです

この世界をただ見ているだけの人生で終わらせないために

どうでしょうか?「見ているだけの人生で終わらせないために勉強をする」 たいへん難しいことかもしれません。

「人学ばざれば智なし」

人は学ぶことをやめたとき、成長もとまります。歳を重ねたいまでも学び続けることは必要なことなのだと改めて思います。小さなことでも学びを続け、新たな知識を得られたことに喜びを感じることも必要なのだと思います。

表彰

- ★1学期後半から夏休み中に活躍した人たちを紹介します。
- ■宝塚市中体連市内大会
 - ◎陸上競技部

男女共通 第3位 女子総合 第2位

女子共通4×100mリレー 第1位

女子低学年4×100mリレー 第2位

男子低学年4×100mリレー 第3位

男子3年100m 第3位 男子共通走高跳 第2位

男子共通走幅跳 第1位 女子3年100m 第1位

女子共通200m 第1位 女子1年800m 第1位

女子共通走高跳 第2位・第3位

- ◎女子バスケットボール 準優勝 *阪神大会出場
- ◎軟式野球部 第3位
- ◎女子卓球部 団体の部 第3位 *阪神大会出場
- 卓球 個人の部 優勝 *阪神大会出場、県大会出場
- ◎硬式テニス 女子シングルス 第3位
- ■夏休み中の大会・コンクール等
 - ◎陸上競技部 中学校総合体育大会陸上競技大会 県大会出場 6名
 - ◎吹奏楽部 吹奏楽コンクール西阪神地区大会 銀賞
 - ◎女子バスケットボール部 宝塚市民バスケットボール大会 第3位
 - ◎男子バスケットボール部 宝塚市民バスケットボール大会 第3位
 - ◎野球部 宝塚市軟式野球協会杯 第3位
 - ◎剣道 阪神中学校総合体育大会剣道大会 男子団体 第3位 *県大会出場
 - ◎水泳 中学校総合体育大会水泳競技 女子 200m自由形女子 400m自由形 近畿大会出場 兵庫県中学校学年別水泳競技大会 女子 1 年生 200m個人メドレー 第 1 位
- ■社会を明るくする運動 標語
 - 1等 (3年)
 - 2等 (2年)・(1年)
 - 3等 (3年)・(2年)・(1年)

佳作 (3年)2名・(2年)2名

(1年)6名

おめでとうございます!